

- スタッフのみなさんへの謝金は名称を「アルバイト代」とし、交通費 または アルバイト代 の選択とする(宿泊費請求は基本的に無しとする)。

- 普及活動の講師は別枠の扱いとし、謝金・交通費・宿泊費の請求を認める。

- 対象者の所属，役職名を明記する必要がある

・謝金至急対象範囲について

- 普及活動において前泊の扱いを認める（経路探索で〇〇時までには到着できないことを確認し1泊8000円までを至急，規定に追記予定）

・各様式の紹介…下記URLで詳細様式を提供。

<http://www.robocup.or.jp/jnc.html>

- 2009年度は現在の様式を若干改善したもの

- 2010年度は全体を大幅に改善したものを提供

- 今後は各ブロック，ノードで規定，様式を周知し徹底すること

2. 2010年の世界大会について（高橋）

・2010年6月19日～25日 シンガポール

（ジュニアは20日調整，21～24日競技）

<http://www.robocup2010.org/>

・ジュニアについては世界大会次の予定（詳細は次のURLで確認できる）

http://www.robocup2010.org/home_News_010.php

12月9日～1月15日 プレースホルダー受付

1月末まで 各国の枠確定

2月10日～3月31日 事前登録（早期割引）

4月30日までに登録完了

・ジュニアジャパンとしては，次のように対応する。

- 世界大会選抜チーム数については，1月末以降（2月1日以降）に決定して行くこととなる。

- 4月30日時点で参加費登録は日本委員会が立て替えるなどの措置をして対応する。その中で，早期割引金額などを考慮していただけるようにNational Repを通して交渉

3. 2010年ジャパンオープン（高橋）

・5月2日～4日，大阪の某大学で開催予定（12月第1週には結果が出る予定）

- 「大阪工業大学」。ただし，日本委員会のホームページで発表されるまでは口外しないようにお願いします。

- 移動日等を考慮して無理のない日程として設定

※本日の議論は，この日程，場所を前提に行う

・大きさは2,200平米（沼津の会場広さーダンスステージ広さー@ホーム広さが目安）

・ダンスは体育館内の舞台，客席は広さに含まれない

4. 世界大会各チャレンジのルールについて（各国際TC）

・サッカー（12月半ばまでに決定予定）

- フィールドA，フィールドBの両方を開催

- 2009年度と基本的には変更なし

* 重量制限について検討中

+ Lightweight leagueとしてOpen leagueとは別のリーグ

として開催する可能性がある

* ボールは全てRCJ-05を使う

+ mode A, mode Bをどのフィールド，年齢グループでどのよう

に扱うかは検討中

・レスキュー（12月末までに決定予定）

- レスキューA

* 従来のレスキュー

* プライマリ，セカンダリの2クラス

* ルールに大きな変更がある（水野先生のスライドからのメモ，完全ではない。詳細は技術委員会で情報共有）

+ アルミ箔を巻いた350mlドリンク缶を被災者

- + 被災者はレッドゾーンのみ
- + 被災者を避難地点に運んだら得点
- + プライマリ 黒く塗られた1辺30cmの2等辺直角三角形
- + セカンダリ 黒く塗られた1辺30cmの2等辺直角三角形, 6cmの高さ
- + アリーナは30cm四方のタイルを並べてラインを作るorテープでラインを引いてもよい
(ラウンド毎に変わる)
- + 出入り口のドアサイズが変わるw25cm x h25cm
- + ロボットのサイズ制限なし、代わりにドアを
- + 市販キットを組み立てただけのロボットは失格というルールが明記
- + ゾーンはオレンジとレッドのみ, レッドの前の床に銀色のマークが貼られる
- + 進行の停止で戻る場所は部屋の入り口のみ, 3回目の進行の停止でキャプテンが部屋の入り口か出口かを選択

できる

※YouTubeでオーストラリアでの競技の様子を見ることができる

- レスキューB
 - * デモ
 - * プライマリ, セカンダリの区別なし
 - * 迷路タイプのフィールド
 - + 白の床は進行可能, 黒の床は行き止まり
 - + 被災者は「熱」を出す(詳細はこれから…)

・ダンス(年内までに決定予定)

- ・ダンス(Dance)と演技(Theatre)を区別する方向
 - + 採点シートで分ける, アワード(カテゴリ)を分けるかは現在議論中

5. アンケート集計結果について(金田)

0) ジュニアジャパンの方針

・「裾野を広げる」「国際大会へつながる仕組みを提供」の2つは並立するもの。
→2012年に向けてジュニアジャパンをどのような組織にしていくかについては実行委員会で継続して検討する。当面2010年ジャパンオープンに向けてブロック, ノードでどのルールにどのフィールドで取り組むかについて本日は議論する【決定】

(意見)

- ・どちらかという「国際大会へつながる仕組みを提供」を重視しているように聞こえる。しかし, 具体的にブロックやノードでどちらを目指して何をするのか, ということについて早く決めて行く必要がある。
- ・究極として, I. 普及のための国内リーグ, II. 選抜のためのリーグを別に運営することもあり得る
- ・ルールが変わったときの変化に従来から参加しているチームがどのように対応できるか
- ・ジュニアジャパンやブロック, ノードで整備するフィールドや道具を無駄にしないための, 国内普及活動の在り方について検討が必要

1) 国内選抜の方法について(金田)

◇2010年日本大会のルールの決め方

ア) 2009年度ルール

イ) 2010年度ルール(12月末までに出た場合)

ウ) 2009年度ルール+国際TCからのドラフトをもとに2010年度ローカルルールを国内TCで策定し採用(12月末までに出なかった場合)

エ) 2009年度ルールをモディファイする(12月末までに出なかった場合)

→大きな所はこの実行委員会で決定する(以下チャレンジ毎を参照)。細部は技術委員会で検討【決定】

→ウ)の方針。全チャレンジで共通。【決定】

◇サッカー: 2009年度ローカルルール

- ・Ver. A: グレースケース, ブロック割当
- ・Ver. B: グリーンカーペット
- ・ボール: 新ボールでA, BともにモードB

→2010年はグレースケール、2011年はグリーンカーペットとする【決定】12月9日改定
但し、会議終了後の議事録確認の期間に、2011年以降の扱いについては議論したいとの意見が複数の実行委員からあった。
この件については、実行委員会の中で、2010年3月までに意見をまとめ、2010年の5月の総会時に、その意見を元に修正する。
(補足：実行委員会の中で、2010年3月まで意見が集約できない時は、2011年はグリーンカーペットとする【決定】という
今回の決定が最終決定になります。)

→2010年からはボールはRCJ-05とする。また、2010年のField Aはmode B(連続光)とする。2010年のField Bのモード
は今後技術委員会で決定する。【決定】

→Field Aはブロック割当はコート数が決まったところで決める【決定】

- 「ブロックへは基本〇チーム+配分」という方法で決める【決定】

→Field Bはブロック割当はコート数が決まったところで決める。各ブロックからの選抜方法は各ブロックで決める。
【決定】

→Field Aへの参加資格は昨年度のルールを踏襲する【決定】

→サッカー枠のField AとField Bの配分は「Field Bを3or4コート」【決定】

◇レスキュー：

・レスキューA：2面 32チーム

→2面とし、プライマリ/セカンダリの区別あり、原則トータル32チーム【決定】

・レスキューB：世界大会に向けて公募制？正規競技ではないので表彰はわからない？・・・旅費支援？

→参加チームは技術委員会で選抜する。JST旅費支援はしない。3月中旬までに何らかの方法で選抜をし、3月末の登録に間に合わせる。【決定】

(意見)

・(水野) 日本大会から世界大会まで1ヶ月程度しかないのでは日本大会は2010年ルールで行うこととする。
・(水野) レスキューの被災者が変わった背景として、特定の参加者が毎年勝つようなルールは改善の余地があるという考え方から、ルール変更を進める。
・レスキューAプライマリ、レスキューBは、これまでの技術の応用で比較的取り組み易いのでは。Aセカンダリは、6cmの高さまで要救助者を持ち上げなければならない点でロボットづくりに大きな違いがある。

◇ダンス：

・ステージ：1面

・チーム数：24チーム

→ルールが決まった段階で「ダンス」「演技」の募集方法について決める。あとは全体のルール決定と同様。【決定】

→チーム数は原則24チーム【決定】

著作権に関して：【決定】12月7日改定

・各ブロックで認識して欲しい

→「著作権処理について.pdf」「レコード会社一覧.pdf」を認識する

・参加者に対しては著作権フリーを原則とする

・著作権がかかるものを参加者に示す

→「著作権処理について.pdf」「レコード会社一覧.pdf」を案内する

・負担金は全て参加者チームのみが負担？全員が負担

→参加者に対しては、購入したCDなどのオリジナル媒体を持参する事を原則とする。

・世界大会における演奏権、複製権の扱いに関しては、国際TCを通じ、国際大会開催LOCに指摘する。

①演奏権に関して：

ジャパンオープンでは、大会を主催する日本委員会が社団法人日本音楽著作権協会 (JASRAC) に支払いをする。

ブロック/ノード大会(入場料を徴収する大会について)にて演奏権が発生した場合、そのブロック/ノードの判断にて、負担金を主催者負担か参加者負担とするかを決定する。

②複製権に関して：

参加者に対しては、購入したCDなどのオリジナル媒体を持参する事を原則とする。
但し、費用が発生する場合には、参加者負担とする。

(意見) 12月9日改定

ネットダウンロードの場合、コンピュータまたは携帯 電話への直接ダウンロードとなり、オリジナルの媒体を使用しなければならないということであれば、その楽曲を購入した媒体からの再生でないといけないことになる。
→大会主催者の対応を検討。

4) ジュニア年度について

◇2011年以降のジュニアのジャパンオープン（日本大会）の開催日程について

- まずジュニアが開催可能時期を決めた上でシニアと協議する必要がある

→2012年以降については、実行委員会ですべて議論。【決定】

(意見)

・(水野) 世界大会および国際ルールが決まる時期は大きくは変わらない→秋に世界大会参加チームを選抜し選抜チームだけ12月末頃に決まる新ルールにより世界大会の準備をする。

6. ジュニアの普及、国内運営について（北原）

・実行委員会での議決方法の仕組み【確認】

- 掲示板方式の提案

- 広報について

* 各チャレンジの説明等を分担

+ レスキューは関東ブロックが担当（12月14日改定）

* ホームページの統合について→畑さんが責任者

* メーリングリストについても移行→畑さんが責任者

* 普及のために一段とジュニアジャパンのWebページを使って行く

・今年度のブロックの認定

新ノード ブロック

神戸 兵庫ブロック？ 〈1〉 12月9日改定

隠岐 *特別ブロック 〈2〉

舞鶴 *特別ブロック 〈3〉

徳山 *特別ブロック 〈4〉

沖縄 *特別ブロック 〈5〉

彦根 京滋奈ブロック 〈6〉

盛岡 東北ブロック 〈7〉

堺 関西ブロック 〈8〉 12月9日改定

和歌山 関西ブロック

長野 北信越ブロック 〈9〉

札幌 北海道ブロック 〈10〉

掛川 静岡ブロック 〈11〉

宇都宮 関東ブロック 〈12〉

小松 金沢と合体→*石川ブロック 〈13〉

徳島 四国ブロック 〈14〉

*岡山ブロック 〈15〉

*郡山ブロック 〈16〉

九州ブロック 〈17〉

東海ブロック 〈18〉

兵庫ブロック 〈19〉

広島ブロック 〈20〉

- *・・・新規
- ?・・・未定
- 〈○〉・・・ブロック数

→以上20ブロック（もしくは19ブロック）を認定する【決定】
 →2010年は2日間で開催する【決定】→基本的には、従来どおりのスケジュールで実施。12/19 ジャパンオープン実行委員会にて、日程を議題とする予定、正式回答はそれまで未定。（12月14日改定）
 →2011年以降は3日間開催の可能性についても各ブロックに持ち帰って検討する【決定】

7. その他

- ・（畑）新型インフルエンザへの対応
- ノードまでについては次の原則とする。【決定】

新型インフルエンザに対するジュニアジャパンとしての対応原則

1. 大会当日までにインフルエンザが分かっている場合は参加できない。
2. 大会参加費は返却しない。
3. メンターが参加者の参加の可否に対する判断には責任を持つ。
 （強制はしないが、当日朝の検温などによるメンバーの体調把握を積極的に実施することをメンターに求める）
5. 大会当日に会場で発症したメンバーの扱いについてはメンターおよび大会責任者の判断とする。
6. その他の扱いについては大会責任者の元、各大会で定める。
 （義務ではないが、会場でのマスクや消毒液の用意、看護師など医療関係者の会場待機、医務室の準備、近隣病院との連携など可能な対応は検討して欲しい）

→新型インフルエンザ対策も加味したチームのメンバー交代については、次のようにする。【決定】

チームメンバーの交代に関するルール

1. 原則は2009年5月24日に決定した次のルールに従う。
http://www.robocupjunior.jp/com/modules/menu/main.php?page_id=19&op=change_page
2. 新型インフルエンザにチームメンバーがかかった場合、そのメンバー抜きで競技には参加する。
3. （新型インフルエンザが原因である場合も含めて）いかなる理由でも、大会当日になってもしチームメンバーが誰も出られない場合には棄権となる。
4. （新型インフルエンザが原因である場合も含めて）いかなる理由でも、事前にチームメンバーが出られなくなった場合には1. のルールに従って、各大会実行委員会で協議の上、対応をする。この場合、妥当な理由でなければ認められないこともある。

以上